

大学名	広島大学
講座、分野（教室）名	小児歯科学
主任教授	野村 良太

講座の特色

広島大学小児歯科学は、学部創立から15年目の1979年に設置され、長坂信夫先生が初代教授として赴任しました。同時に診療部門も分室から小児歯科となりました。2001年香西克之先生が第2代教授、2022年に野村良太先生が第3代教授となり、現在に至っています。

診療活動としては、一般小児の齲蝕管理、咬合誘導、外傷の治療はもとより、専門外来として埋伏歯の開窓・牽引、埋伏過剰歯の抜歯、出生後すぐからの口唇口蓋裂児への対応、スペシャルニーズの子どもたちに対するチーム歯科医療の他、全国15施設（中四国唯一）の小児がん拠点病院の一つとして、小児病棟の入院患児の周術期口腔管理も積極的に行っています。

教育活動としては、学部教育では、小児歯科学分野の講義や実習、臨床実習を留学生に対するものも含めて担当し、大学院教育では、小児口腔科学に関する専門的能力を養い、大学や地域歯科医療の指導的役割を担う人材の育成を目指しています。

さらに若手の教室員に対しては、小児歯科専門医の養成に教室を挙げて取り組んでおり、専門医として地域医療で活躍するOBOGとも連携体制があります。

研究テーマは齲蝕を中心とした細菌関連の研究を中心に、小児領域で個々の関心のあるテーマに広く取り組んでいます。

海外での学会発表等に参加する医局員も多く、また大学病院として「ジャパン・インターナショナル・ホスピタルズ(JIH)」に推奨されており、様々な国の患児を診る機会を通じて、国際的に活躍できる歯科医師となるべく研鑽を積んでいます。

医局の構成（2025年度）

1. 教授：1名
 2. 助教：5名（特任助教を含む）
 3. 大学院生：3年3名、2年5名、1年2名
 4. 研究員：1名
 5. 研修登録医：5名
 6. 教育研究補助職員：1名
- 合計：23名



本学小児歯科診療室の概要

病院

設備	小児領域チェア数：10台
	小児領域個室：2室
スタッフ	受付：歯科領域、小児領域に複数名
	歯科衛生士：歯科領域全体で26名
1日平均患者数：30人程度 年間患者数：7,000人程度	

本学小児歯科のアピールポイント

1. 研究と臨床をバランスよく経験しながら、専門医取得が旨せる
2. 同門会（OB・OG）とも連携して、外勤先でも治療診断技術が学べる
3. 広島大学独自の研究奨学金等への応募が可能（採用実績多数）
4. 新入局員および学会発表者への出張旅費援助
5. 医科小児科や歯科の他診療科との連携実績が豊富

本学小児歯科年間行事

- 4月：歓迎会
- 5月：小児歯科学会大会
- 6月：親子のお口の健康教室主催、同門会総会・講演会
- 7月：夏祭り
- 8月：糖尿病サマーキャンプ、血友病包括外来、夏休みお疲れさま会
- 10月～11月：小児歯科学会中四国地方会、公聴会お疲れさま会
- 12月：同門会忘年会、餅つき
- 3月：カンボジア歯科医療支援活動、送別会



講座から一言



季節ごとのいろいろな行事を楽しみながら、教員も大学院生も皆で協力して、診療や研究に取り組んでいます。治療を怖がっていた子どもが、笑顔で来院し、笑顔で帰るようになるのが、私たちの喜びです。



※部の表示データおよび野線区画は、各機関にて自由に変更可

大学名	広島大学		
講座、分野（教室）名	小児歯科学		
主任教授	野村 良太		
講座医局員研修プログラム責任者	野村 良太		
講座医局員研修プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定医等の名称	日本小児歯科学会専門医 （日本障害者歯科学会認定医・ 日本小児口腔外科学会認定医も取得可能）		
講座医局員研修プログラムの特色			
<p>新卒・研修医修了後の小児歯科研修プログラムは、基本的に大学院への入学を前提としています。</p> <p>大学院在籍中の4年間は、臨床と研究に並行して取り組むことで、小児歯科専門医と博士（歯学）の学位のスムーズな取得を実現します。</p> <p>例えば、小児期の患児を診るには、成長を見守りながら適切なアプローチをすることが大切であり、専門医受験の際にも2年以上等の長期症例が必要です。大学院入学後は、初年度に研修を積みながら、半年経過後あたりから主治医として診療に関わっていくことができ、卒後を含む5年の研修プログラムの間にさまざまなケースの長期症例と関わっていくことができるよう配慮されています。</p> <p>研究面でも、グループ単位で行うことで様々なスケジュールに対応でき、学位取得に向けた実践的な研究を行いながら手技の習得と熟練を目指し、学位論文となる学術論文投稿に向けて早い時期に準備できるよう工夫されています。また、齲蝕細菌に関する研究の他、疫学研究や人工知能に関する研究等、多角的な視点から小児歯科医療向上のための研究を進めており、自身の興味や得意分野、スケジュールに応じて取り組むことができます。</p>			
講座医局員研修プログラムの内容			
	大学院生	臨床専門専修科生・研究生・レジデント・医員	
1～4年目	<p><アカデミックレジデント></p> <p>学位（博士）取得に向けた研究と専門医取得を目指した臨床技能研修とを並行して実施します。</p> <p>（学位取得に関する研修） 研究分野の知識や技術を修得し、最新の研究動向を理解します。小児歯科学研究の方法と研究課題に関連した最新の文献に触れ、発表・討論を行います。</p> <p>（臨床技能研修） 新人教育として、臨床技術について模型や相互実習を通して実践します。 日常臨床におけるon the jobトレーニングを中心に研修を実施します。 木曜日・金曜日にはカンファレンスがあり、新規担当患者の診断、治療計画の立案についてプレゼンテーションし、医局員全員でのディスカッションを通じて研修を進めます。</p>	1～4年目	<p>基本的には大学院生としての入局となります。</p> <p>既に専門医や学位を取得した方や他のクリニックで勤務中の方等の部分的な研修目的に、研究生や研修登録医としての受入ができる場合があるため、ご相談ください。</p>
5年目	<p><シニアレジデント></p> <p>学位取得し、大学院を卒業後、これまでに学んだ臨床技術をまとめ、様々な症例での応用を経験します。 専門医試験（小児歯科臨床経験として通算5年以上必要）への出願を準備します。</p>		
6年目	<p><チーフレジデント></p> <p>5年目の終わりに出願を済ませ、書類選考に合格した後、専門医試験受験。</p> <p>【試験内容】 (1)ケースプレゼンテーションおよび口頭試問 (2)症例課題(記述試験) (3)客観試験(選択肢問題)</p> <p>専門医資格取得後は、診療室での初診患者の診断の他、スペシャルニーズの子どもたちへのチーム医療での中心的立場として、診療室での研鑽を続け、専門医指導医取得を目指す他、希望に応じて他の認定医等の受験も進めていきます。</p>		

大学名	広島大学
講座、分野（教室）名	小児歯科学
主任教授	野村 良太
外勤可能日数	
大学院	
週1～1.5回 別途学校歯科健診等あり	
収入の見込（月単位）	
大学院	
1～4年目	大学（クリニカルスタッフ）：約11万円/月 大学（ティーチングアシスタント（講義補助等））：約2万円/月 大学（奨学金）：19万円/月（大学の募集の有無により変動あり・採用者のみ） 外勤：約12万円/月（回数・経験等による）
その他日本学生支援機構奨学金の他、各種奨学金へのエントリーも可、 広島大学エクセレントスチューデントスカラシップによる学費半期免除の制度あり	
主な外勤先	
広島口腔保健センター	県立広島病院
呉口腔保健センター	倉敷第一病院
教室OB・OG等の小児歯科クリニック （小児歯科専門医等在籍） 6院程度	一般開業歯科医院 （小児歯科・一般歯科・往診歯科診療等を担当） 6院程度
歯科衛生士・歯科技工士専門学校等	
本学の研修医修了者 / 本学に在籍したことがない者 共通のキャリアデザインに向けてのフローチャート	
詳細	
大学院生	研修登録医
講座への入局希望受付期間：随時 （入学試験は年に2回実施）	講座への入局希望受付期間：随時
願書提出時に必要な書類： 大学Webページ参照 https://www.hiroshima-u.ac.jp/bhs	願書提出時に必要な書類：教室へ問い合わせ
問い合わせ先：rnomura@hiroshima-u.ac.jp（野村 良太）	